

保護者の皆様

川崎市立平小学校  
校長 松沢 隆

### 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と 平小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

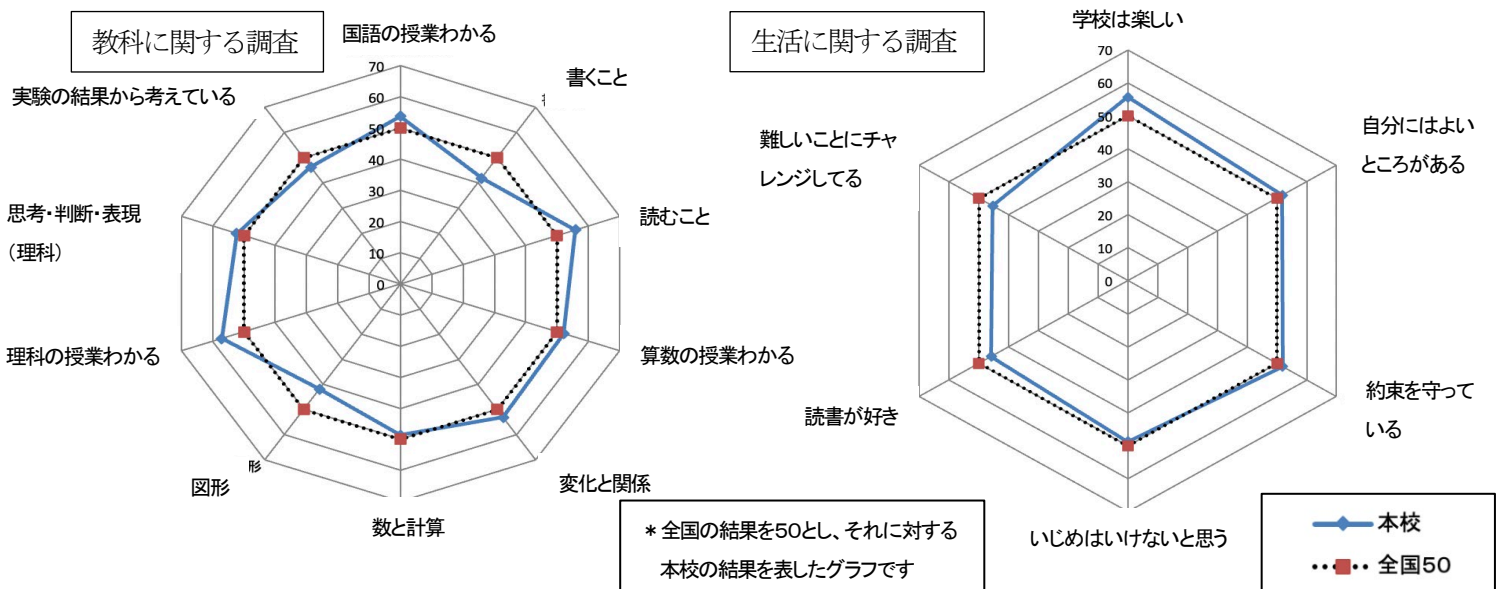
本校におきましては、

学校教育目標「心豊かでたくましく実践力のある子供の育成」 元気な子 考える子 やさしい子 がんばる子  
を目指して日々の教育活動に取り組んでおります。

4月19日（火）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果内容を、本校がめざす学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の学力向上に向けての取組について報告いたします。なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることが調査の実施要項に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

今後も児童一人一人に寄り添った教育活動の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

#### 1. 調査結果概要



#### 2. 調査結果をもとにした今後の取組

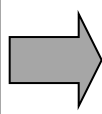
┌───┐ 昨年度取組    ┌───┐ 成果    ┌───┐ 課題    ┌───┐ 分析    ┌───┐ 今後の取組  
※示している数値…「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」の数値。

##### (1) 国語の調査結果

【昨年度までの取組】一昨年度から引き続き、朝の読書タイムを設定するなど読書の充実に関心をもち、学校生活の様々な場面で書く機会を設定したり、漢字学習など基礎基本の定着に努めたりすることで「書く」の正答率が全国平均と同程度になることを目指してきました。

①国語の授業がよく分かる  
87.8 %

②国語「読むこと」正答率  
72.5 %



①②児童の87.8%が国語の授業がよくわかると回答しています。また、「読むこと」の正答率が72.5%でした。これは、全国平均の66.6%を上回る成績です。この結果は、読書に力を入れてきた校内の取り組みと一致します。

①昨年度から「書く」の正答率を全国平均と同程度になるように取り組んでまいりましたが、結果は全国平均を下回り課題と考えています。

①国語「書く」正答率 40.4%

読書への取り組みを引き続き充実させながら、より一層「書く」の充実に向けて努めてまいります。授業の中で、課題に対する自分の意見やふり返りなど日常的に書くことを意識して指導することで全国平均と同程度になることを目指します。

## (2) 算数の調査結果

【昨年度までの取組】毎時間「学習のねらい」を明確にし、児童一人一人の学習状況に応じた「わかる授業」を目標にした指導の充実を図ることで、「算数の授業がよく分かる」と回答する児童が増えるように取り組んできました。また、計算など反復学習の機会を保障することで基礎的・基本的な内容が身に付けられるようにしてきました。

①算数の授業がよく分かる	83.3%
②「変化と関係」の正答率	54.4%
③「数と計算」の正答率	68.5%

①②③「算数の授業がよく分かる」と回答した割合は、83.3%で全国平均 81.2%を上回っています。また、「変化と関係」では全国平均を上回り、昨年度課題だった「数と計算」では全国平均まで1.3%と成果が出ていました。

①「図形」の正答率 55.8%

①「図形」の正答率が 55.8%でした。全国の正答率 64%を下回り、課題と捉えています。

「学習のねらい」を明確にし、児童一人一人の学習状況に応じた「わかる授業」を目指した成果が出ていると考えています。引き続き「わかる授業」に向けて指導の充実を図ります。また、授業で理解した事を朝の短時間学習などを利用し、反復学習を行うことで定着させるように指導していきます。「図形」を全国平均と同じ水準になるように取り組みます。

## (3) 理科の調査結果

【昨年度までの取組】実験を積極的に取り入れることで、子供の意欲を引き出したり、結果を予想し、話し合ったりすることで思考力や表現力が身に付くように取り組んできました。

理科の授業がよくわかる	95.6%
思考・判断・表現の正答率	66%

①②「理科の授業がよく分かる」と回答した割合は、95.6%で全国平均 88.5%を上回っています。また、思考・判断・表現の正答率も 66%で全国平均 63.7%を上回っています。

①実験の結果から分かった事を考えているの回答率 81.2%

①「実験の結果からどのようなことが分かったのか考えている」と回答した児童は 81.2%でした。全国の 84.9%を下回り、課題と捉えています。

引き続き授業の中で、積極的に実験を取り入れていくようにします。また、来年度に向けて、実験の結果から分かった事を考える「考察」の部分に力を入れ、子供たちの意見で授業のまとめができるように進めていきます。

## (4) 質問紙調査結果

【昨年度までの取組】

- ・学校行事や学年の校外学習などで実行委員制を取り入れ、行事を自分の手でやり遂げる経験や、自分のよさを発見できるよう「共生\*共育プログラム」に取り組むなどして、自尊感情を高める指導に重点を置いてきました。また、道徳の授業や人権教育などを通して、命の大切さやいじめは絶対にいけないという思いをもつよう指導してきました。
- ・学校での朝の「読書タイム」や保護者による「読み聞かせ」などで読書に対する興味関心を高めるようにしてきました。

①学校は楽しいと思う	91.1%
②自分にはよいところがあると思う	81.1%
③約束を守りスマートフォンやパソコンを使用している	73.4%
④いじめはいけないと思いますか	95.5%

①②「学校は楽しい」と回答した児童の割合は 91.1%でした。これは全国平均の 85.4%を上回ります。また「自分にはよい所がある」と回答した児童も 81.1%と全国平均の 79.3%を上回ります。学校生活の中で、自分のよさを発見できるよう取り組んできた成果だと考えます。

③④「いじめはいけないと思う」と回答した割合は 95.5%です。また「約束を守ってスマートフォンやパソコンを使用している」と回答した子供の割合が全国平均と比べても高く、規範意識が高まっていることが伺えます。道徳の授業での成果が、日常にあらわれていると考えています。

①読書が好きです	68.9%
②難しいことに挑戦していますか	67.8%

①読書が好きと回答した児童は 68.9%で全国平均を下回っています。学校生活の中で読書にふれる機会が増えるように指導を継続していきます。

②難しいことに挑戦していると回答した児童は、67.8%と全校平均を下回っています。

- ・係活動や行事での実行委員、「共生\*共育プログラム」など自尊感情を高める指導に重点を置いてきたことは成果がありました。また、道徳の授業や人権教育などを通して、規範意識の高まりや、命の大切さ、いじめは絶対にいけないという思いをもつよう指導してきたことにも成果を感じています。来年度は、より一層充実させていきます。

- ・読書への取組には、課題が残りました。友達同士、本を紹介する機会をつくるなど日常的に本の魅力にふれられるように工夫します。また、教師の言葉かけなど工夫することで子供たちが挑戦する気持ちをもてるように指導していきます。

教育委員会より： 小平小学校では、子どもの学習状況に応じて授業の展開を工夫しながら、「わかる授業」の推進を図ってきました。こうした日々の取組により、学校が楽しいと感じることや難しい問題に対してチャレンジをしていく態度が育ち、子どもたちの学力を伸ばし、豊かな心を育むことにつながっていると捉えています。 宮前区・教育担当